

## 2-7 生産波及の大きさ

1 単位の需要増加に対する生産波及の大きさを示す逆行列係数の列和をみると、全産業平均は 1.23 倍であった。

産業部門別にみると、鉱業が 1.34 倍と最も高いが生産額のシェアは下位である。生産額の多い順でみると、生産額の最も多い輸送機械の生産波及は 1.29 倍であり、全産業平均の 1.23 倍よりも 0.06 ポイント高い。(事務用品・分類不明を除く。)

表 2-17 産業部門別の生産波及の大きさ

産業部門分類コード順	浜松市 (倍)	静岡県 (倍)	国 (倍)
農林水産業	1.24	1.24	1.79
鉱業	1.34	1.37	1.73
飲食料品	1.31	1.27	1.97
繊維製品	1.20	1.23	1.67
パルプ・紙・木製品	1.22	1.34	2.00
化学製品	1.16	1.28	1.93
石油・石炭製品	1.13	1.11	1.18
プラスチック・ゴム	1.21	1.29	1.94
窯業・土石製品	1.20	1.26	1.68
鉄鋼	1.26	1.23	2.47
非鉄金属	1.15	1.35	1.77
金属製品	1.18	1.23	2.02
はん用機械	1.17	1.23	1.94
生産用機械	1.20	1.27	1.90
業務用機械	1.19	1.21	1.83
電子部品	1.21	1.23	1.82
電気機械	1.19	1.28	1.91
情報・通信機器	1.20	1.22	1.84
輸送機械	1.29	1.33	2.48
その他の製造工業製品	1.27	1.31	1.81
建設	1.22	1.28	1.84
電力・ガス・熱供給	1.21	1.25	1.50
水道	1.31	1.36	1.80
廃棄物処理	1.21	1.26	1.52
商業	1.22	1.27	1.46
金融・保険	1.22	1.26	1.50
不動産	1.15	1.15	1.23
運輸・郵便	1.24	1.29	1.70
情報通信	1.27	1.35	1.75
公務	1.22	1.22	1.44
教育・研究	1.19	1.22	1.41
医療・福祉	1.18	1.23	1.56
その他の非営利団体サービス	1.24	1.27	1.59
対事業所サービス	1.19	1.24	1.59
対個人サービス	1.25	1.30	1.72
全産業平均	1.23	1.28	1.77

表 2-18 生産額が多い順の生産波及の大きさ

生産額が多い順	浜松市 (倍)	生産額 百万円	構成比 %
輸送機械	1.29	786,535	14.1%
医療・福祉	1.19	600,991	10.8%
商業	1.23	551,416	9.9%
不動産	1.15	423,058	7.6%
対個人サービス	1.25	356,011	6.4%
建設	1.22	355,122	6.4%
運輸・郵便	1.24	353,640	6.3%
対事業所サービス	1.19	312,879	5.6%
金融・保険	1.22	231,475	4.2%
教育・研究	1.19	185,631	3.3%
公務	1.22	172,514	3.1%
生産用機械	1.20	157,131	2.8%
プラスチック・ゴム	1.21	124,921	2.2%
情報通信	1.27	107,747	1.9%
電気機械	1.19	84,013	1.5%
飲食料品	1.31	83,871	1.5%
金属製品	1.18	77,026	1.4%
電子部品	1.21	70,995	1.3%
その他の製造工業製品	1.27	69,592	1.2%
農林水産業	1.24	58,595	1.1%
電力・ガス・熱供給	1.21	48,629	0.9%
パルプ・紙・木製品	1.22	40,514	0.7%
水道	1.31	37,569	0.7%
繊維製品	1.20	33,635	0.6%
はん用機械	1.17	31,677	0.6%
情報・通信機器	1.21	31,392	0.6%
鉄鋼	1.26	28,407	0.5%
廃棄物処理	1.21	24,368	0.4%
その他の非営利団体サービス	1.24	22,296	0.4%
業務用機械	1.19	19,197	0.3%
窯業・土石製品	1.20	17,314	0.3%
非鉄金属	1.15	17,186	0.3%
化学製品	1.16	7,863	0.1%
石油・石炭製品	1.13	3,021	0.1%
鉱業	1.34	1,866	0.0%
全産業平均	1.23	5,570,168	100.0%

### ◇逆行列係数

ある産業部門に 1 単位の最終需要が発生した場合、どのような生産波及が生じるのか、生産波及の大きさを示す係数である。産業部門ごとの逆行列係数のタテの合計を列和という。

計算例 輸送機械に 100 億円の市内需要（生産）が生じた場合の生産誘発額

（輸送機械に生じた需要額） × （生産波及の大きさ） = （生産誘発額）  
 100 億円 × 1.29 倍 = 129 億円

輸送機械に生じた 100 億円の需要は、直接的に 100 億円、間接的に 29 億円の市内生産を発生させ、合計で 129 億円の市内生産を発生させる。